

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北部九州の木の家

グループの名称

一般社団法人福岡県木造住宅協会

直近採択グループ番号

06-0341-0717

(グループ代表者)

代表者名

大里 博之

代表者印

代表者所属先

一般社団法人福岡県木造住宅協会

代表者所在地

福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-3-4

代表者電話番号

092-643-0998

(グループ事務局)

事務局事業者名

一般社団法人福岡県木造住宅協会

事務局担当者名

鶴田 奈都美

印

事務局郵便番号

812-0051

事務局所在地

福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-3-4

事務局電話番号

092-643-0998

事務局FAX

092-643-0994

事務局担当者E-mail

eisui@kyu-hou.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		50	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	50	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		13	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	13	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	配分については、経験工務店・未経験工務店いずれも先着順で申し込み受け付けを行う。 採択戸数(申込状況に応じて変わる可能性あり)								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	45	戸	交付申請戸数	33	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	33	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	11	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州一円
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 一般社団法人福岡県木造住宅協会	(結成年) 2011年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0341-0717	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・日照時間が長く温かい地域であるため、日射遮蔽の対策が求められる。 ・高温多湿の気候であるため、白蟻対策が求められる。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・日射遮蔽の対策として、①低放射複層ガラスを使用する。もしくは、②軒、庇、ブラインド、カーテン等を設置する。のいずれかを行う。 ・白蟻対策として、ベタ基礎を標準仕様とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・デザインルールは特に定めず、幅広いプランに対応する。 ・ただし、積極的にパッシブなデザインの提案を行うこととする。	○
④①～③の背景	・一般的に気温が高く、日照時間が長い地域である。 ・高温多湿の気候である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・低炭素化への促進のための誘導措置として、次の取組みを行う。 ①次の(1)～(3)のいずれか一つを採用する。 (1)設置する便器の半数以上に節水に資する器具を採用する。 (2)設置する水栓の半数以上に節水に資する器具を採用する。 (3)定置型の食器洗浄機を設置する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 白蟻対策として、ベタ基礎を標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達のコラボ	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ構成員間で情報を共有し、木材調達に関して共同購入を行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 最終納入業者を一部に限定することで、事務処理の合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・構成員の相談窓口として、生産の合理化に努める。 ・依頼に応じて、一次エネルギーの計算や認定のサポートを行い、地域型住宅の生産の効率化を図る。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ・一般社団法人JBNが編集した「木造住宅工事管理の実務」は、行程順に現場管理の要点をまとめた実践的の手引書であり、これに沿うことで施工基準の整備を行う。(JBN共通ルールより)	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・一般社団法人JBNが編集した「木造住宅工事管理の実務」に記載されている《木造住宅施工状況現場検査チェックシート》を活用する。(JBN共通ルールより)	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・それぞれの部位でサイズを分けて積算、使用することで、木材の無駄をなくし生産性を高める。 ・木材発注前にはチェックシートで最終チェックを行い、信頼性向上に努める。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・消費者を対象とした現場見学会(工事中または竣工時など)を地域型住宅に関しては全棟実施を義務づける。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 週休2日制の導入を目標としている。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 技能や経験にふさわしい処遇を受けられるような体制づくりに努めている。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 社会保険の加入については、法令を順守している。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 施工管理者の管理のもと、適切な現場施工を行う。 自社等で開催される安全大会の写真等をホームページで公開する(任意)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・現場見学会の案内や見学会の状況写真、地域型住宅の紹介などをホームページにて公開する。(任意)	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州一円
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人福岡県木造住宅協会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0341-0717	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報蓄積の管理体制として、第三者機関である「いえもり・かるて」等への登録を義務化する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・一般社団法人JBNの「いえもり・かるて」等を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報預証を、グループ事務局へ提出する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検の指定期間での実施、日常の清掃やお手入れの重要性を、引渡の際、施主に説明する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・実績報告時に「引渡説明確認書」を、グループ事務局へ提出する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持保全計画と住宅履歴情報の蓄積の重要性を、引渡の際、施主に説明する。 ・実績報告時に「引渡説明確認書」を、グループ事務局へ提出する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・相談窓口として、必要に応じて施工構成員の選定や手配を行う。 ・「住宅完成保証制度」の活用を推奨する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・当グループの仕様ルール、運用ルールに関する説明会を開催する。 ・当初の説明会時のみでなく、随時相談を受け付け、状況に応じて説明会を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「木造住宅工事管理の実務」講習会などの開催(1回以上、状況に応じて開催予定。)	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・実績報告時に「講習会報告書」を、グループ事務局に提出する。	○
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・2020年に向け、省エネルギーに関するセミナーや資料を提供している。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 200 今年度の参加目標人数 50
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 10	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・福岡県地域木造住宅生産体制強化地域協議会との連携を密に行い、講習会の情報をいち早く発信する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州一円
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人福岡県木造住宅協会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0341-0717	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 北部九州の木の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州一円
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 一般社団法人福岡県木造住宅協会	<small>(結成年)</small> 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0341-0717	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>・事務局は地域型住宅に対し、仕様に適合していることを証明する「北部九州の木の家証明書」を発行する。(希望者)</p> <p><ゼロ・エネルギー住宅のルール(目標値)> R → 100%以上とする。 R0 → 20%以上とする。 UA → 0.6以下とする。 高効率給湯器等を設置する。 高効率エアコン等を設置する。(LDK) LED、蛍光灯等を設置する。(LDK)</p> <p><認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の取り組み> ZEH性能を目指す仕様とする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。